（1）　日刊（除月曜）　昭和21年6月1日（第3種郵便物認可）　昭和24年2月28日 運輸省特別扱承認第238號　いわき民報　夕刊　昭和24年9月1日（木曜日）　第1011號

いわき民報

發行所
平市田町48 電381・176
いわき民報社
編集兼印刷發行人　田原登

市民税七割增徴

七日ごろ平臨時市會

平市では七日ごろ臨時市會を開き住民税の附課額決定を行うことになつた、今度の市會に提案する住民税額は市民税五百五万円、縣民税六百二十二万円で合計千百二十七万円、これを一世帯當りに見ると市民税七百五十円、縣民税九百二十二円、計千六百七十二円、昨年の標準額と較べると市民税が七割、縣民税は六割の增加となつておりいままでの最高額を示している

國鐵平―取手間電化

民自黨案を最後決定す

國鐵の電化について民自黨では政調會を中心に檢討中であつたが『國鐵電化振興株式會社要綱』の成案を得たので三十日の役員會にはかり最終決定を行つた、同要綱によれば國鐵電化の爲民間資金もしくは外資導入によつて地區毎に國鐵電化振興株式會社を設立し自己資本又は傭人金によつて電化に必要な施設と運營を行うもので全國合計二千二百六十一キロを豫定區間とし、當磐城地方多年の要望であつた常磐線取手平間、七二キロにもこの豫定線に入つている

一日から性病豫防週間

三日夜公會堂で講演會開く

平保健所では最近增加の傾向にある性病を撲滅しようと九月一日から一週間行われる「性病豫防週間」にのぞみ、三日午後七時から市公會堂日本間に「性病豫防懇談會」を開き、講演、座談會、映畫等を催すことになつた

◇講演　産児制限に就いて　五十嵐雄二、性病について　安齊徹、優生保護法と性病　稙頭懲太郎

豫防對策打合會

平保健所では三日午前十時から石城地方事務所に平市並びに郡下の各事業場衛生管理者を集めて性病撲滅の趣旨徹底を計るため性病豫防對策打合會を開催する、なおそれと共に五日小名濱地區の姙産婦に對し性病檢診の採血を行うことに決つた

勞基法施行二週年記念

五日講演會

平勞基署では勞基法施行滿二週年を迎え五日午前十時三十分から本社ホールに於て新任原署長から『過去二年間の業務概況と推移について』と題し講演會を開催する

新勞基署長

原富雄氏着任

平勞基署後任署長に三十一日白河勞基署長原富雄氏が着任

石炭局職組大會

平石炭局職組大會は三日午後開き、大坂委員長外二名の行政整理に對する組合の對策に就き活潑な協議を行い、整理撤回を目的に團体交渉をもつことを決定今後の成行きが注目されている

引揚者輸送指導員

六氏を任命さる

引揚者の秩序保持に關する政令に基き縣では引揚者の輸送指導員として石城地方事務所の芳賀三男、長谷川悟策、熊澤左司、五十嵐重雄、篠原保治、佐藤武雄の六氏を任命、二十九日から列車同乘を開始した、この輸送指導員は友部―平間を擔當、引揚者輸送の指示指導を行うわけだが平以北は双葉、相馬、兩地方事務所が擔當することになつた

賃金地方交渉問題等

十日炭勞の臨時大會

炭勞東部支部第四回臨時大會は九月十日午前十時半から平市勞働會館に開き、中央委員會の決定に基く七月以降新賃金を地方交渉にする問題に就いての今後の斗爭方針、九月二十日から六日開かれる炭勞全國大會に關する件その他に就き協議する

商店街方面に勞基法違反

近く一齊監査

平勞働基準監督署では管内商店街に於いて勞基法の遵守がなおざりにされている實情に鑑み再三注告を與えて來たが殊に最近多忙に名を藉りて休日、時間外勞働等勞働强化を强いその狀態は嘗て商店法が施行されていた時代よりも惡化しているとの聲が店員の間から屢々聞かれるに到つたので過般平市内の二、三の商店を監査した結果實情聲に違わず更に備付書類の不備等種種違反を暴露し得たので近くこれらの經驗に照し管内商店街の一齊監査に乘出すことになつた

十八名整理

磐前、山崎鑛で

内郷町磐前炭鑛、磐前山崎炭鑛では企業の合理化を理由に從業員六十名（兩炭鑛とも）に對し磐前坑では八名、山崎坑では十名を整理することに決めたが、組合側は完全雇用を叫び一日午後一時から炭勞東部支部日鑛常連代表の平井、伊藤兩氏を加え團体交渉を行うことになつた

抑留された漁船

四週間内に歸るか

北海道に出漁中ソ連側に抑留された小名濱町上野代金之助氏所有揚繰船（運搬船）第三金丸（二七・七トン）には乘組員二十名のうち船長小松秀吉氏（四〇）ほか三名の小名濱出身者のいることがこの程判明したが北海道から歸つた同漁業部の責任者の話によると遲くとも四週間以内には船と全乘組員が無事歸るだろうと樂觀的な見透しで關係者をホッとさせた

配給もの

米十九日分

九月分主食

食糧配給公團平出張所では九月分の主食配給を米十九日、馬鈴薯五日、小麥粉麥雜穀六日分（中パン一日半分）と計畫している

漁夫の盜み

豐間町大字沼之内漁夫野口利男（三〇）は三十日午後八時頃同町大字豐間無職志賀直子さん（三三）方から衣類九點時價千二百五十円相當を盜んだことが判り三十一日午前十時頃平地區署に捕まつた

一萬七千圓

魚屋さん盜難

平市立町群魚商平田卯三郎さん（四七）方では三十日午後十二時から翌朝五時までの間に枕元のベビータンスから現金一万七千二百円相當を盜まれた

空巣

神谷村大字中神谷字水前一二鐵道員木村又十郎さん（三一）方では二十九日空巣に入られ腕時計、箪服上衣（三千六百円相當）盜まれた

はびこる列車妨害に

鐵道側で徹宵警戒

平鐵道公安所管内の列車妨害の犯罪發生數は一月以來八月三十一日現在迄に三十二件を數えいづれもその犯人と目されるものは捕つていないため一般に奇怪な感を與えているので同所ではこれに備えて防止對策を强化するため八月から新に公安員四名を增加し連日各方面に係員を派遣し特に夜間の鐵道警備に當らしむる一方防止對策に强力なる手を打つと語つているなお平驛連區でも保線區員を各區域ごとに每日徹夜で線路の警戒に當つておりものものしい空氣に異常な緊張を見せている

列車内スリ

每月十件

八月の犯罪

平鐵道公安所管内の八月中における列車内の犯罪發生數は置引六件、スリ十件、忍込、詐欺各一件計十八件で七月中の發生數と同數でスリが依然多く每月十件を下らない現狀にある

今夕から荒模樣

キティ台風に警戒要す

小名濱測候所氣象特報によると、どんより曇つた三十一日の天候は午後七時ころからぐづ付き始め明朝四時ころから本格的な雨降り模樣に入り雨量は百ミリ程度から最少限度六十ミリと豫測され最大風速は二十米前後となる模樣でアイオン颱風當時の雨量二百三十ミリからみると大した荒模樣にはならないだらうと豫測している

三十一日午前六時現在キティ颱風は八丈島南方百キロの地點にあり、中心の示度九百七十ミリで每時三十キロの速さで北々西に進行中であり、中心から三百キロ以内は二十米乃至三十米の風速であり今夕七時ころ、房總半島に上陸の見込で、その後は縣の東側を通過して宮城方面にぬける模樣であり、炭鑛、河川等警戒を促している

喧嘩の上

顔を毆る

平市長橋町無職佐藤春雄（四〇）は二十九日午後五時頃平市堤内阿部蓮治郎さん方で飲酒中些細のことから喧嘩となり阿部さんの顔面を毆りつけ全治一週間の傷害を與えたことが判り三十一日朝平市署に捕まつた

竊盜に一年

勿來町酒井採炭夫後藤德次郎（三四）にかゝる竊盜は三十一日地裁平支部で懲役一年の判決

民報論壇

市廳舍と學校建築案

田原登

平市の財政計畫は入場税を中心としてこれに依存して建てられたものであつた本年度市豫算にはこの入場税で千九百万円上ると計上したが實際は鈴木市長の胸算では三千万円とれると推定し、この金で市廳舍も神谷飯野の兩村に二つの中學を建てる案を建て市議會の協賛を經て實行に移した、若しも入場税が從來通りであつたならば本計畫の實現を見たであろう、然るに入場税は市人口によつて制限され千五百万円しか上らなくなり且つ今回のシャウプ勸告によつて縣に移譲されるので入場税で賄うことは不可能となつた、家屋税その他では到底この大穴は埋めることが出來ないので鈴木放慢財政は此處に暗礁に乘り上げた形となつた

私はさきに本欄において市廳舍の新築に反對した、その理由は配炭公團の廢止による同公團廳舍の不必用となる豫見をしたが、果せるかな同公團は九月十五日限り廢止となつた、これを有効に市廳舍に當てることによつて市財政の緩和を計ることが出來る、市政の運營に市廳舍等は一時的バラック建築物でも決して何等の支障がなく、それよりも國民教育を施す道場である學校建設の方が先にすべきことは當然の常識でなければならない、鈴木市長は斯うした常識に缺けている

更に神谷、飯野の合併を前提とした中學校建築問題であるが、この合併理由が如何なる利益によるものか詳でなかつたので、その理由を全市民に公開すべきであつたが、このことについては去る廿四日の市政懇談會に於いて市長は初めて理由を明にしたが、それによるとこの兩村を合併することによつて入場税を約五百万円增徴出來る利益があるので來年三月迄には合併可能となるであろうと述べその他の理由は何も無かつた處が入場税は縣に移管して仕舞うので必然的に合併案は解消することになる譯であるが、只單に入場税を當て込む丈のこんな薄弱な理由なら合併の必要はない何故ならば入場税は不安定な税金であることが從來の例によつてその性格が判つているのである、かつて福島市長剣本衛雄氏は近村合併の際には氏自身の執筆になる長文の合併理由書を作製し全市及び關係町村に配布して充分その利害關係を明にした爲あの合併が出來たのであるが、それでも瀬上町等においては合併は不可であつたと後悔している者が少くないのである、私はこの合併理由が今以つて判然していないので賛成も反對も出來ない、斯うした感情は多くの市民が持つている、こんな曖昧模糊としたものに市民の血税で學校を建築する等の如きは再考の必要があると提言するが事實は市財政の行詰りで必然的に實現が不可能になる形勢である

ミシンは草野
トレーチャー コントロール オルガン
ミシン
草野ミシン商會
平市南町 電九六〇

ミツコ印棒炭
木炭よりお徳用でお値段の安い
特殊棒炭の御使用をお勸め致します
配達迅速
近納信義商店
工場 平市才槌小路 電九四二

衣料品
吳服と洋品 有名化粧品と小間物
雜貨 レコード 樂譜樂器と
附屬類雜誌
平市四丁目 電268番
山吉商店

眼科
野地醫院
平市鎌田町（平細橋際り）

金物一般
マルヘイ
平市銀座 電一四

野球放送は！
ビクターラジオで！！
品揃 社取 各窗 他豐
三井百貨店
平三 電284

放射線科
内科
谷口醫院 ヤグチ
平市二丁目橫 電一〇六五番

石炭コークスの御注文は
多少に不拘御用命下さい
福島縣石炭販賣株式會社
平市田町 電話六九八番
平支店長 鶴山菊次郎

カメラ
材料一式 修理迅速
美鈴
田町驛前通 電561

平市五丁目
釜屋商店
電九・九九・九九九

◇ベニヤ板 大量入荷
格安、勉强致シマス
織田銘木店
平市一町目二五
電話 平店 四六〇 工場 二三五

松崎眼科醫院
内郷第二イワキ隣
電話（綴）一二番

郷土漫筆

久保木貞幸

高木誠一

徳川時代における農村の最大痛事は、其折々に襲い來る凶荒であった、殊に東北地方に於ては氣候不順による、冷害が最大原因であった

凶荒一たび、農村を襲うや農民は其生命を託すべき食糧なく餓飢道に横わり、あらゆる人生悲劇中の最大慘事が目睫せられ之と同時に關係諸藩の財政收入にも不足を來すにより、各藩に於ては逸く藩內殘存米の留置を行い、又は他地方より米其他の雜穀を移入して一時の急を救うの手段を講じた、又飢民に對しては臨時救療所たる所謂御救小屋を設けて、神身疲勞せる飢民を收容して彼等に施粥しまたは施藥して其露命を一日も長く保たしめんことに努めた

更に又農民中の稍富裕なるものは自巳の倉庫に保存しある穀物を出し之を振舞うて善隣の好味を示すものもあった斯くして農村一たび凶作に見舞わるれば、民政の事に當る幕吏藩吏を始め村役人に至るまで慈善的思想を体現して飢民救助の事に當るのであった

天明天保の飢饉と云えば世に有名もので當時の悲慘な話は今に傳わって居りますが、かかる變事に際し始めて偉人の面目が現われて名を後世に傳えたものが少くありません

明治二十五年六月農商務省出版、大日本農功傳には本邦古來より農功や救荒に關し功績ある事實の小傳を纂修して其令德い行を天下後世に表彰するを旨として上は神代より下は明治の初期まで百六十四人の小傳事蹟の概要をのせてある中に郷土關係者としては泉藩士は本多忠籌侯、小川江開渠の澤村勝爲、久保木貞幸の三氏が記載されてある、特に本多侯の如きは佐藤信淵の經濟要錄に近世無雙の英傑と稱讃し、近くは黑田源六氏の著作、吉田正愛氏の史料集成等があり天下の名君として夙に宣傳せられる、又澤村氏の偉業の如き普く人口にこう炙して居るが久保木氏の事蹟はあまり知れて居ない

天保年度の飢饉の際磐城國磐前郡藤間村（今の夏井村大字藤間）地方は時の里正久保木貞幸の爲に救われて他所で見るような悲慘事がなかったと申すことである

久保木家は由緒正しい舊家で遠い先祖は世に名高い田村將軍に仕えた武士でありますが其後裔に久保木兵庫なるもの鎌倉時代建治元年（今より六百七十五年前）に從者數人と共に移住して荒蕪を拓き村落を作り藤間村と名かけて其地に土着した今殘って居る古い圖帳に藤間屋敷なる名稱あるは當時兵庫が居た屋敷だと申すことである

應永二十二年兵庫の裔兵三なるもの佛舍を建立し山林六反廿歩田一反を寄進し村の香火院としました、兵三より代々村の里正を務め村の舊家として地方の尊信甚だ厚かったと云う、貞幸の父貞方は專ら意を勸農に注ぎ其子貞幸又父の志をつぎ益々公共の爲に力を盡した

貞幸は天明五年七月十日生れで三十歳の時藤間村の名主役として父子共に相勸め次いで磐城郡赤沼、原高野、磐前郡、下大越、下高久四カ村の名主、大越荒田目二カ村の名主後見を命ぜられた、天保四年飢饉があり貞幸は自分の貯えて居る米穀を出して其急を救い又有名な天保七年丙申の大飢饉には自ら常陸に赴き五百円の金を以って米、麥、大豆稗の類を求め一時の急を救ったけれども之丈では足りないので更に五百兩を以て常陸から粟を求めて村內及附近の窮民を救った又自分が支配して居る所の赤沼村で租金が凡そ三千兩許り滯りました、取立てようにも村民窮乏して取立が出來ません仍て私財を出して之を償い又飢饉のため義倉の荒備貯蓄の穀物が盡き仕舞って再び之を積まんにも飢饉の餘弊で積む譯には行きません、そこで之れも私財を投じて右の大飢饉後二年間ずつかり籾を積込んだと申すことである。

貞幸は獨り赤沼村ばかりでなく其附近隣村における公私種々の難儀を救うたと云う、又弘化二年と氣候不順のため年穀稔らず貞幸急を救うこと前の如く此際大に骨折った、新に義倉を設け藤間村では籾七斗入四百五十俵を備え又赤沼村では金百三十兩、籾七斗入二百二十俵下大越では籾七斗入三十五俵を備え、凶年の節は御上樣へ御手當筋一切不相願心得にて備置く毎年之を積み以て非常に備うること九年に及ぶと云う。

これ等の功により幕府及び領主より屡々恩賞の御沙汰があったと云う、貞幸人の爲に計るや寢食を忘れて東西に奔走席暖まるいとまもなく遠近の民皆其德をたたえ呼びて家公となした

建治元年祖先兵庫此の地を開拓してより嘉永二年貞幸に至る四十五代五百七十三年同血脉少しも亂れずに相繼いで來たのは甚だ珍らしいことである、貞幸世を去るに當り子供等を枕邊に呼んで、今土地の人達が色々大事にしてくれるが之れは皆祖先の積んで置かれた德の御蔭である、寧にして祖先の德により今や苗字帶刀を許され尊い品品を拜領し地方の尊信を受けるようになったのは誠に難有い仕合じや汝等兄弟のものよく祖先の德、國家の恩を忘れず互に相和し相親んで家事に勵せよ常に神を尊び佛を念じ下を憐み上を敬い祖先の名を汚すような事があってはならぬぞや、やがて八十五の天壽を全うして明治二年七月十日往生を遂げた、三子心を協せよく父の言を守り今に至るも家名を墮さず地方の尊信を受けて居ると云う

附近の人人は昔から年年正月祝又は刈り揚げ祝に福田餅を久保木家に贈る慣しでこの多數の餅は凶作の際村民を救う備として毎年之を寒中の晒し十分乾して五穀と共に倉に貯えてあったと申すことです古きは五十年より百年以上のものが近年まで殘ってあったと云う

生れた吾子に會い度い

殺人犯大谷その後の狀況

戰慄の高久村一家皆殺し事件も犯人檢擧を終って既に三カ月近く地裁平支部法廷に第一回の公判が開かれることになっているが憎むべき極惡犯人大谷欣完（二二）のその後の狀況はどうであろうか、担當辯護人として獄中の大谷に屡々面接事情を聽取している永野辯護士に聞いて見た、同辯護士の話に依れば檢擧された直後すべてが支離滅裂し恰も發狂狀態に近く自殺の虞れさえあった大谷も時日の經過と共に漸く冷靜さを取戻し、しかもそれと相前後してまた次第に良心の呵責に耐えられなくなり現在では三度三度の食事さえ滿足に喉に通らず夜は夜で睡眠が充分に採れずその苦しみを辯護人に訴え極く最近など『公判までは身体が持つまい』と告げているそうである　一方取戻した冷靜さは犯罪の動機、模樣等に就き世上一般に流布されているような不合理性を一擲し三日間の余裕を求めた上で辯護人に對し合理的陳述をなしているとのことで近付く公判廷で檢事對辯護人間に激しい論爭の行われることが豫想されている

しかしあれだけの大罪を犯した人間は通例見られる觀念、締めは未だに見られず今なおしや婆に相當の未練を殘しているらしく辯護人に對しても此の點『生まれた子供と妻に一目會い度い』と洩らし犯罪の動機に絡まる去りし妻への戀らざる思慕の情を持ち續け更に生まれ出た過ぎし日の愛の結晶へ限り無き父性愛を燃やしているとのことである、ともあれ彼大谷の黑白を決する公判を近付いていることであり同辯護士も『今度の公判は極めて短時間に終るであろう』と示唆している所から見て事件の眞相が世人一般の前に發表される日もそう遠くはあるまい

勞働者を卑む偏見

全面的に是正

働く婦人の懇談會

平勞基署、平市役所、石城地方事務所共催の働く婦人の懇談會は三十日午後一時より平市片倉製糸工場で開いた、參集者は主催者側係員と郡市各婦人團体代表、片倉製糸の女子工員、並に同工員の母親達約五十名で先づ一行は約一時間に亘って同工場を見學したのち千葉市社會課長が司會者となり特に同會社側幹部の出席を求めて見學內容などを主題とした懇談會に入り同四時過ぎ散會した、當日の主な意見を拾うと次の通り

△今でも女子工員に對し女工哀史的な考え方が脫け切れない、金を持って遊ぶものを尊び社會的に働くものを卑しむ偏見を全面的に廢止して明朗な職場にしたい

△結婚前の婦人勞働者が職業というもの責任を意識しないで重要な職に當ってもやめたりした點から不當な差別待遇や蔑視觀念が多かった、從って賃金の低賤ということがあったが勞基法に基き就業時間も定められそうしたものの心配はない

△衛生方面では、養療室があり健康保險によって無料で傷害を治療する事が出來る、結核の問題は年頃だけに當局も注意しているが現在のところは一名の疾病者もいない

△教養方面、一週間に定められた時間で活花、裁縫、洋裁その他の授業を行っている、强制的に出來ないが皆よく出席している、教育方面の難しいところは、家庭にある場合は、兩親はある程度强制的に娘の意見も聽して夜外出して惡いと云う事も云えるが會社にある場合は門限（八時三十分）に間に合えばとり立てて外出してはいけないという事も云えず本人を矯正するのに苦勞をするのが遺憾だ

生活と文化

なぜ暑いと時計が遲れるか

菅波錦平

どうですこの暑さは、いかに健康な体の持主でも、こう暑くてはお仕事が活潑にいかないでしょう。又皆さんの出勤時刻、お仕事の時間、退社時刻を知らせ皆さんと共に休みなく働いている時計の步度はいかがですか、暑さのため働きがゆるやかになり、大分おくれるでしょう。人間はいかに暑くても、晩には一ぱいやれるなと思うと、はり切って仕事もはかいくのですが、時計は不可抗力で、人間のようにいかないのがはなはだ殘念です、ではどうしてなのだろう、これについて述べて見ましょう。

携帶時計のように、テンプがヒゲゼンマイの彈力によって回轉振動する振動の速さ、すなわち週期は溫度の變化を受けると、左の二つの法則によって變化するものである。その一つは『同質ノ物体デモソレヲ軸カラ遠ク置ケバ、遠ク置クホド週期ヲ增ス』すなわち、暑さのためテンプが膨張すると、テンプ輪が廻轉軸から遠くなるから、振動が遲くなるということである。その二は『ばねノ爲ニ錘ノ振動スル週期ハ、錘ノ重サトばねノ强サニヨル』すなわち、暑さのため、ヒゲゼンマイがのびると彈性が弱くなるので振動が遲くなるということである。

すべての物質は溫めれば膨張し、冷せば收縮する、これは誰でも知っている自然の法則で、人力でどうすることも出來ないのである。氣溫が上昇するにしたがって寒暖計の水銀は膨張し昇って行くと共に時計の振子並にテンプもまた振動が遲れ方が、その日の暑さの程度を物語っていることを知るであろう。

一日に何秒遲れた、又は進んだということは、テンプ又は振子の振動が、定められている振動數に比較して、少なく振ったか多く振ったかの表示である。一般懷中時計並に腕時計は、一秒間五回、二十四時間四十三万二千回振動の設計のもとに作られている。それゆえに、一日一分遲れたとすれば、三百回振動が足りなかった、すなわち、二十四時間に四十三万一千七百回振ったことを示し、又一日五秒進んだとすれば、四十三万二千二十五回振ったことになるのである。

二十四時間四十三万二千回を一回の狂いもなく振動をつづけることの出來る絕對正確な携帶時計を、現代の製作技術で作ることの出來ない最大原因は、使用物質が溫度の變化をうけることによって、各分子の位置が變化することである。

筆者は『時計の科學』原稿紙四百字詰五百枚、製圖約四百を去る四月、八年かかってようやく脫稿致しましたので今少し餘裕がありますから、時計についてこの質問、並に專門家の方の時計修理上の疑問等ありましたら筆者までお（ハガキ下さい）出來るかぎり說明申上げたいと思います。

十二日以上遲延の場合

配給辭退者と看做す

◇…食糧配給公團で告示

食糧配給公團平出張所では本團の指令に依り、主食の配給を十二日以上遲延した場合は今後配給辭退者とみなし處理することにすると三十日市內各配給所にその旨告示した

今度の措置は食糧の效率的操作と公團業務上やむを得ずとったもので、配給日に受配せず七日經過した場合は（生いも類は二日間）再度五日間（生いも類二日間）まって辭退者とみなすもので、家計の都合で延期する場合は民生委員の證明を必要とする、なお受配のおくれた場合、この十二日間內に配給を求めた時は原則として配給當時の食糧と同一種類のものを他の種類より優先的に配給することになっている

炭礦の夕べ

五日夜放送

來る九月五日（月）夜七時三十分よりのＮＨＫ郡山特集プロ『炭礦の夕べ』には炭礦に働く人人が出演するが講演は大和炭礦社長鈴木傳明氏、歌謠曲は常磐炭礦羽田春光、古河好間鳥本啓三、小田炭礦鳴原正の三氏と決定した曲目は

▲シベリヤエレジー（羽田

▲誰か故郷を思わざる（鳥本）

▲湯の町エレジー（鳴原）

なお鈴木傳明氏の講演題目は未定

タンゴ競技會

一位に大和田君と藤居美津子孃

縣社交舞踏教師會主催、第一回濱三郡アマチュア、タンゴ競技會を二十八日午後一時から平市オリエンタル、ダンスホールに開催、各ダンス教習所より二組以上出場して甘きタンゴのメロデーに乘って各各美技を盡し覇を競ったが結局オリエンタルダンスホールより出場した大和田省三君パートナー藤居美津子孃が第一位で優勝、續いてフラワーより出場した川上正一君、パートナー佐佐木翔子孃が第二位、第三、四、五、六位は植田地區、市議齊藤角治氏から優勝銀製大カップの受與式が行われ華麗盛大の裡に午後六時半閉會した

眼科
安田醫院
平市紺屋町五一
電呼九五四番

精神科
平市才槌小路
新田目醫院
電話15番

宅地家屋
賣買物多
龜ケ屋商會
平市三丁目

靴は菊一へ
夏の……
男子用白靴
女子用白靴
平三　電四四六

入荷
優良ベニヤ
ブナ　センタモ
シナ　等各種
㊀丸一材木店
瀧口豐
工場　平市ネギ町電五五六
自宅　平市五丁目電一九〇

金融と買入
平市大町通り
鈴木質舖

皆樣の藥局
武田藥局
藥劑師　武田三郎
平市聚樂館前

◎傳統と性能に輝く
佐竹式E型精穀機
中村丸六式製粉機
ホーデン式精米機
三德萬石及米撰機
ムサシ號籾摺機
丸宮式脫穀機
代理店
正金商會支店
湯田商會
平市紺屋町〔土橋〕

買入と販賣
中古洋服專門
鈴藤
田町井坂醫院前
電話九三番
賣店　不二ストアー角
世界館前